



- 2 エッセイ／“おかね”を語る
無駄遣いの帝王
シンガーソングライター なぎら健壹



- 9 地域の底力——宮崎県東諸県郡綾町
**豊かな自然の恵みを巧みに活かしながら
時代に先がけるまちづくり**



- 16 特別インタビュー
黒田総裁に聞く 日本銀行総裁 黒田東彦

- 20 日本銀行の支店建物 [6]
日本銀行旧函館支店 日本銀行文書局技師 中村茂樹

日本銀行のレポートから

- 24 「経済・物価情勢の展望」(展望レポート) —2013年10月—

- 28 「金融システムレポート」—2013年10月—

- 32 「決済システムレポート 2012-2013」—2013年10月—

- 36 トピックス

- 39 AIR MAIL from Hong Kong
香港の街市



表紙のことは

日本銀行長崎支店は、太平洋戦争末期の昭和二十年（一九四五）四月に事務所として開設され、戦後、地元の熱的な要望により、昭和二十四年（一九四九）三月に支店に昇格しました。

今回表紙に掲載した当時の店舗は支店昇格に際し、木造瓦葺きの元市立博物館を増改築したものです。戦後の悪条件の中、工事着工から竣工まで約九カ月の早さで、長崎復興の担い手として誕生しました。

同支店は、三八〇年もの歴史をもつ大祭「長崎くんち」で有名な諏訪神社のお膝元、炬粕町にあります。この「炬粕町」には、昔、セントルカス会堂が建てられていたとされており、その「ルカス」が「ろかす」の由来であるとの一説があるようです。

昭和五十三年（一九七八）十二月には、開設当時と同じ炬粕町に現在の店舗が完成しました。毎年秋の「くんち」の間、前庭は祭を楽しむ地元の人や観光客でにぎわいをみせています。同支店は、長崎の街に溶け込みながら地元経済を支えています。



表紙・画 北村公司